

拠点名称：環境・デザインを突破口とする未来創造テキスタイル共創拠点

代表機関	福井大学	プロジェクトリーダー	米沢 晋 福井大学 産学官連携本部 本部長／教授
幹事自治体	福井県	幹事機関	セーレン株式会社
参画機関	福井県立大学、仁愛女子短期大学、福井工業高等専門学校、産業技術総合研究所、東京大学 ウラセ株式会社、清川メッキ工業株式会社、サステナテック株式会社、NPO法人繊維技術活性化協会、福井商工会議所、福井市、鯖江市		

プロジェクトの概要

繊維産業は福井地域の基盤的産業であり、福井の豊かな産業とくらしを支えてきた。しかしその繊維産業は、国連貿易開発会議（UNCTAD）により、水資源（真水）の大量消費や廃棄物大量排出等を伴うことを理由に、石油産業に次ぐ世界2位の環境破壊型産業であるとされている。様々な地域対話を経て、「産地」なればこそ、こうした産業構造の革新に挑み、持続可能な地域づくりを推進していきたいという強い想いを共有するに至った。

環境に巨大な負荷をかける「採って」「作って」「使って」「捨てる」という一方通行の繊維産業をグランドデザインから見直し、環境負荷を再生可能範囲に留めつつ「作って」「使って」「戻して」という循環を生む産業構造、社会構造の実現を目指す。福井大学はこれまでに超臨界CO₂利用無水染色技術について、地域企業と共に研究開発を進めてきた。全く水を使わずに染色や脱色が行える点で非常に革新的なこの技術をケミカルリサイクル工程と組み合わせ持続的な循環系を創りつつ、リサイクルの社会定着に際して大きな問題となる「回収」という人の行動についても、福井県立大学や産総研、福井高専、仁愛短大、東京大学等と協働して研究を進める。さらに、地域企業群や工技センター、金融機関等も含めて、地域共創のためのデザイン思考、枠を超えた対話、リーナな試行、スタートアップ創出・育成を持続的に行える「場」を形成する。

